



特別
企画展

うば尊を祀る



立山・芦峯寺から諸国へ……
会期 二〇一七年 七月 十五日(土) ↓ 八月 二十七日(日)



富山県「立山博物館」



【開館時間】午前九時三〇分～午後五時まで(入館は午後四時三〇分まで)
【観覧料】「一般」二〇〇円「大学生」一六〇円 高校生以下の児童生徒、障がい者等の観覧料は無料です。
【観覧料】「一般」二〇〇円「大学生」一六〇円 学校教育、社会教育で利用する児童生徒の引率者の観覧料は申請により無料となります。



亡者の罪をはかる
尊衣婆

女人救済

五穀成就

子孫繁昌

寿命長久

万物の母神

あの世の入り口に坐す うば尊に寄せる女人のこころとは……



うば尊を祀る

— 立山・芦峯寺から諸国へ —

「うば尊」は、姥神や姥権現とも呼ばれ、その正体は山の神とも山姥とも考えられ、全国各地で祀られています。さらには、奪衣婆信仰などの影響もあり、その性格は多様なものになっています。

では、立山・芦峯寺の媮(うば)尊へ寄せる信仰とは何であったのでしょうか……。

立山信仰の拠点集落の一つであった芦峯寺集落の媮尊は、集落の人々によって立山信仰の基盤として祀られ、多くの武将からも篤く信仰されました。そして、江戸時代に行われていたという「布橋灌頂会」では、芦峯寺の媮尊が極楽往生を願う女人たちの救済に重要な役割を果たしていました。

本展示では、9月に布橋灌頂会の復元イベントが開催されるのにあたり、芦峯寺の媮尊へ寄せた人々の“こころ”を紹介します。



跣倉媮尊像
(福井県福井市・乗久寺)

大姥尊像
(長野県大町市・西正院)



大日姥尊像
(新潟県十日町市・大慶院)

そして、芦峯寺の媮尊との関わりを伝える長野・西正院、福井・乗久寺、新潟・大慶院を手がかりに、媮尊信仰が立山信仰の広がりを与えた影響とは何かを、考えていきます。

この機会に、立山・芦峯寺の媮尊の魅力を感じていただければ幸いです。

休館日 7月18日(火)、24日(月)、31日(月)、8月7日(月)、21日(月)

企画展解説会

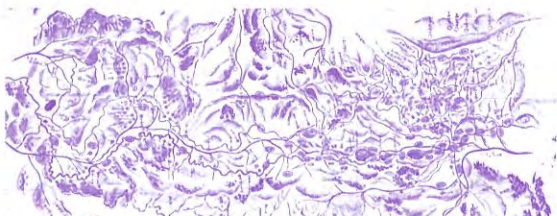
担当学芸員による解説会を開催します。

開催日：7月22日(土)、8月12日(土) 時間：午後2時～午後3時

場所：富山県 [立山博物館] 展示館1階 企画展示室

主な展示資料

○は初公開



大町組絵図[元禄11年(1698)]
(個人蔵、大町市文化財センター保管・市立大町山岳博物館展示資料)



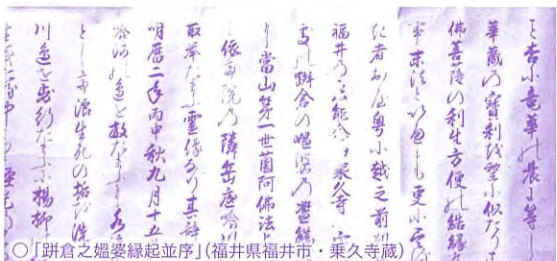
芦峯寺日光坊[立山御媮尊]護符(個人蔵)



媮尊像(芦峯寺閻魔堂蔵・富山県指定文化財)

その他資料

- 「芦峯媮堂」(『加賀藩社寺建築図』所収図、金沢市立玉川図書館蔵)
- 「立山ザラ越之圖」(個人蔵)
- 宝伝坊証印[天明7年(1787)]
(個人蔵、市立大町山岳博物館寄託資料)
- 「地獄・極楽絵図」第三図(新潟県十日町市・大慶院蔵)
- 『立山曼荼羅』竹内家本(個人蔵)
- 芦峯寺善道坊「立山御媮尊」版木(個人蔵)



○「跣倉之媮尊縁起並序」(福井県福井市・乗久寺蔵)



黄銅製仏鈴鉢[天文16年(1547)]
(芦峯寺雄山神社蔵・富山県指定文化財)



放生津八幡宮・築山行事の神面 [左：姥神 右：増長天]
(放生津八幡宮蔵、射水市新湊博物館保管)

文化講演会 「姥神信仰の地域的展開」

講師：松崎憲三氏(成城大学文学部教授)

開催日時：7月29日(土) 午後2時～午後4時

場所：立山町元気交流ステーションみらいば
(富山地方鉄道五百石駅舎)

定員：100名(先着順) ※申込不要、聴講無料

富山県 [立山博物館]

〒930-1406 富山県中新川郡立山町芦峯寺93-1

電話076-481-1216 FAX076-481-1144

http://www.pref.toyama.jp/branches/3043/3043.htm

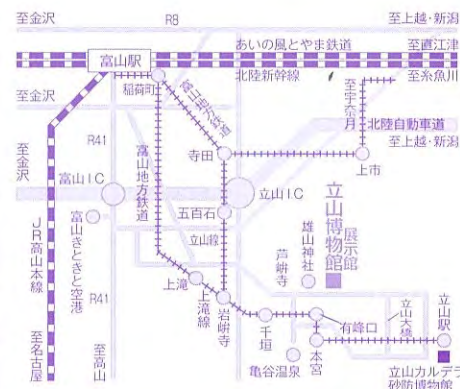


[最寄り駅]

富山地方鉄道立山線
「千垣駅」下車 徒歩(約2km)
※日曜日を除き、町営バス運行

[自家用車]

JR富山駅から約45分
富山地方鉄道 [立山駅]から約10分
北陸自動車道 [富山IC]から約35分
[立山IC]から約30分



主催：富山県 [立山博物館]

後援：北日本新聞社、北日本放送、チューリップテレビ、富山テレビ、富山放送局
滑川中新川地区広域情報事務組合(Net3)、布橋灌頂会実行委員会